

町と日本工業大学との連携事業について

令和4年度 連携事業 全 21 事業(実施 17、縮小 1、中止 3) [令和3年度 全 15 事業]

令和4年度 連携事業の取組について

No.	町担当	事業名及び概要	令和4年度の事業実績	事業の効果・課題等
1	企画 情報財 担当課	マイナポイント申込支援 「スマホ・パソコンなんでも相談会」の出張版として、マイナンバーカード取得者のうち、マイナポイント申込希望者に対して、手続きの支援を行う。	【新規】 ■マイナポイントの申込手続きの支援 期間: 令和4年11月～令和5年1月 場所: 宮代町役場庁舎1階ロビー 学生人数: 10名	ITリテラシーの高い世代として、的確な説明を行ってもらい、申込作業が円滑化した。また、デジタルディバイド解消にも効果が見込まれる。
2	町地 域生 活振 興課 担当	町民まつり 町民主体のコミュニティまつり	【縮小実施】 ■町民まつり 日時: 令和4年8月21日(日)17時～20時 場所: スキップ広場・コミュニティ広場 内容: 実行委員会(広報記録・イベント)への参加 学生人数: 19名(写真部・学生環境推進委員会)	町民まつりを支える若い力として実行委員会から期待されており、まつりのさらなる盛り上げにつながる。
3	町地 域生 活振 興課 担当	進修館の修繕について考えよう(進修館オープンカレッジ) テーマを「進修館の修繕について考えよう。」として、進修館オープンカレッジでワークショップを開催。 【共催】 指定管理者: 特定非営利活動法人MCAサポートセンター	【新規】 ■進修館の修繕について考えよう 日時: 令和4年9月29日(木)～11月17日(木) 全6回 場所: 進修館研修室、木橋 内容: コンクリート建築の劣化調査 現状についての中間報告など 大学教員: 建築学部建築学科 田中章夫 助教	コンクリート建築の劣化調査などにより、進修館の現状を把握できた。また、劣化(雨漏り)箇所の修繕方法の提案をいただいた。
4	町地 域生 活振 興課 担当	進修館アーカイブ事業 進修館に関する資料をデータ化し、アーカイブする。 【主催】 指定管理者: 特定非営利活動法人MCAサポートセンター	【新規】 ■進修館アーカイブ事業 進修館に関するあらゆる資料や図面などをデータ化し、アーカイブした。 大学教員: 先進工学部情報メディア工学科 糸野文洋 教授	データベースの構築を行い、さまざまなデータの整理や閲覧などが可能となった。 (課題) 動作確認など。

No.	町担当	事業名及び概要	令和4年度の事業実績	事業の効果・課題等
5	町地域生活振興課担当	各種企画「マイクラフト講座」 「マイクラフト(クリエイティブモード)」入門講座の開催 【主催】 指定管理者: 特定非営利活動法人MCAサポートセンター	【新規】 ■マイクラフト(クリエイティブモード)入門講座 ・建物や町などを自由にゲーム空間に構築することができるゲームソフトの入門講座を開催。学生が講師となり丁寧に指導を行った。 ・将来的には進修館をゲーム空間に構築することも見据えており、若年層に進修館へ興味を持ってもらうことも目指している。 日時: 第1回 令和4年11月12日(土)、19日(土)、26日(土) 第2回 令和5年1月21日(土)、28日(土) 場所: 進修館研修室・食堂 大学教員: 先進工学部情報メディア工学科 山地秀美 教授 学生人数: 5名	・参加者の満足度が高く、ニーズに応じて第2回の開催を決定した。 ・教育支援センター通学者なども複数参加し、学校のカリキュラムではあまり評価されない個性を発揮できたとの感想があった。
6	町地域生活振興課担当	進修館ラボ スキップ広場の活用について調査・実践を行う。 【主催】 指定管理者: 特定非営利活動法人MCAサポートセンター	【新規】 ■進修館ラボ スキップ広場の賑わい創出を目的に、現状の利用状況やベンチ・テントなどを設置した場合の人の動線などの調査を行った。 大学教員: 建築学部建築学科 木下芳郎 教授 学生人数: 4名	スキップ広場に人が滞在(人だまりができる)ためには何が必要か、という観点から、自作の日よけテントを設置。また、常設のベンチからの目線や広場全体の動線調査をまとめた。
7	町地域生活振興課担当	360度動画制作 進修館施設を360度映像を使った動画で紹介する。 【主催】 指定管理者: 特定非営利活動法人MCAサポートセンター	【新規】 ■360度動画制作 360度カメラを搭載したドローンを使い、館内を歩くような視点で施設紹介する動画を制作した。 大学教員: 先進工学部情報メディア工学科 松田洋 教授 学生人数: 6名	特長的な故に初めて施設利用しようとする人にはわかりにくい進修館の施設内を、360度映像を使って紹介できるようになった。
8	環境資源推進課担当	西原自然の森活用事業 西原自然の森の魅力を感じてもらうため、福祉・文化・環境の3つが融合したイベントを実施する。	【新規】 ■西原自然の森サマーフェスタ 午前の部では、西原自然の森に生息する昆虫や植物の観察を行い、午後の部では、竹の伐採体験と、伐採した竹を使用した竹道具づくりを行った。 学生は、イベント事前準備作業(7月16日)及び西原自然の森サマーフェスタ当日に竹の切り出し作業のサポートやフェスタ当日の竹水鉄砲等のイベント運営を行った。 日時: 令和4年7月30日(土)10時~14時 場所: すてっぷ宮代 参加人数: 30名 学生人数: 15名	若い力として竹の切り出しや枝落とし作業等の力仕事に貢献している。また、イベントの盛り上げに貢献している。

No.	町担当	事業名及び概要	令和4年度の事業実績	事業の効果・課題等
9	環境資源推進課担当	地球温暖化対策実行計画策定事業 温室効果ガスの削減目標と そのための取り組みを設定 し、地球温暖化対策を推進 する計画策定を行う。	■令和5年度からの新規事業のため実績なし	町の特性に合致した有益な計画 策定を行うため、大学の知見に 期待する。
10	子育て支援笑顔課担当	地域のみんで子どもたちの居場所づくり事業① 子どもが孤立しないための 居場所づくりを行う人や活 動を応援し、地域の人々が 主体となった取り組みを広 げる。また、学校に通えない 児童生徒のため学外の間を 整備し、心の居場所や学び の機会を提供する。	■ベースボール5 日時: 令和4年4月6日(水)10時~11時20分 場所: コミュニティ広場 参加人数: 12名 学生人数: 3名 ■FC東京バレーボール 日時: 令和4年5月29日(日)9時30分~11時30分 場所: コミュニティ広場 参加人数: 28名 学生人数: 3名 ■道佛集会所夏休み勉強会 日時: 令和4年7月25日(月)~27日(水)、29日(金) 8月22日(月)~25日(木) 場所: 道佛集会所 参加人数: 15名(延べ) 学生人数: 11名(延べ) ■聞いて! 見て! 楽しんで! みんなでつくろう! こどもの居場所@宮代町 日時: 令和5年1月29日(日)12時30分~16時 場所: すてっぷ宮代 学生人数: 2名 ■こども広場@辰新田集会所 日時: 令和5年3月29日(水)11時~14時 場所: 辰新田集会所 学生人数: 3名 【縮小実施】 ■「こどもまつり」 日時: 令和5年2月11日(土)、12日(日)10時~15時30分 場所: 子育てひろば 参加人数: 109名 学生人数: 0名(新型コロナウイルス感染拡大防止のため募集なし)	・子どもたちにとって、年齢の近い大学生が遊んでくれることで、自然体で楽しく過ごす時間となった。 ・大学生と宿題ができる場があることで、家庭環境により塾などに通えない家庭の学習支援に繋がった。 (課題) ・地域に子どもたちの居場所が途絶えないように、個人ボランティアから授業やゼミ、サークル活動等との継続的な事業へと発展していきたい。

No.	町担当	事業名及び概要	令和4年度の事業実績	事業の効果・課題等
11	子ども支援笑顔課担当	地域みんなで子どもたちの居場所づくり事業② 子どもが孤立しないための居場所づくりを行う人や活動を応援し、地域の人々が主体となった取り組みを広げる。また、学校に通えない児童生徒のため学外の間を整備し、心の居場所や学びの機会を提供する。	【新規】 ■みんなで創るこどもの居場所(工作・子ども食堂) 第1回 日時: 令和4年5月28日(土)11時～16時 場所: 無印良品東武動物公園駅前 参加人数: 約165名 学生人数: 9名 第2回 日時: 令和4年9月3日(土)11時～16時 場所: 無印良品東武動物公園駅前 参加人数: 160名 学生人数: 5名 第3回 日時: 令和5年2月5日(日)11時～16時 場所: 無印良品東武動物公園駅前 参加人数: 約185名 学生人数: 3名	イベント実施を通じて、行政・企業・大学の連携強化ができた。
12	子育て支援課保育園	保育園のくつ箱制作	■令和5年度からの新規事業のため実績なし	制作を通じて、園児と学生との交流が図られることで、園児のものづくりへの興味が深まる。
13	高齢介護支援課担当	認知症まちづくりミーティング 認知症の方に優しいまちづくりの方法を話し合う場。アイデア出しと実践。	■ミーティングの開催(4月から毎月開催) 内容: ・図書館での認知症パネル展示 ・日本工業大学での福祉機器展(3月9日実施) 大学教員: ・建築学部建築学科生活環境デザインコース 野口祐子 教授、勝木祐仁 准教授 ・教育研究推進室 大塚竹郎 課長、三本松陽子 氏	・町の認知症施策をはじめとした町事業の宣伝の場となっている。 ・認知症の方へ優しいまちづくりを通して、助け合いの精神を広めたい。
14	健康介護センター	献血推進事業 大学構内で献血を実施	■「献血」 第1回 令和4年4月15日(金) 57名 第2回 令和4年5月31日(火) 46名 第3回 令和4年11月14日(月) 67名 合計170名	学生及び大学職員の参加が見込めるほか、献血について普及啓発が期待できる。

No.	町担当	事業名及び概要	令和4年度の事業実績	事業の効果・課題等
15	産業 商業 工観 観光 課担 当	日本工業大学ビジネスプランコンテスト 産学連携起業教育センターが主催する「日本工業大学学生起業家支援プログラムビジネスコンテスト」に町が共催。	■「第17回ビジネスプランコンテスト」 日時: 令和4年10月31日(月) 場所: 日本工業大学 学友会館 ・既に学内で選出された8点の優秀なビジネスプランの中から、今後の町の政策や産業振興に役立つことが期待されるビジネスプランの立案者に対して町長賞を授与。 ・町長賞受賞者(プラン名) 成田亮 氏(「動画×大学で起こす地域活性化」) 住民が撮影した動画を使用し、檜葉町の今を町民や元町民に伝えるサービス	プレゼンテーションを行った学生と観覧者(企業)がジョイントし、実際のビジネスに発展する可能性もある。
16	産業 商業 工観 観光 課担 当	まちなか起業創業支援事業、宮代ブランド創造事業 町内外から起業を志す人材を呼び込むため、宮代マルシェ(市場)を定期開催し町の賑わい作りにつなげる。 1万人を超える来場者のあるトウブコフェスティバルを観光の目玉とし、宮代町のPRにつなげる。	【中止】 ■「トウブコフェスティバル」 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	イベントに参加、協力いただくことで宮代町の良さを理解してもらうことができる。
17	教育 学校 推進 課担 当	学力向上推進事業及びキャリア教育事業 児童生徒の学力向上や大学生のキャリア教育について、学生や大学教員と連携して各事業を行う。	【中止】 ■「教育ボランティア」「職場体験の受入」 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	・専門的な視点からの指導と体験により、児童生徒の学力の育成を図ることができる。 ・児童生徒一人一人の課題に応じた、基礎基本の定着を図ることができる。 ・学生の社会体験・職場体験を通して、豊かな人間性や社会性を身につけることに繋がる。
18	教育 学校 推進 課担 当	プログラミング教育推進事業 社会の変化に対応した情報教育を推進する。	■「プログラミング教育」 総合的な学習の時間を活用し、町内すべての6年生を対象として、児童に年3時間の授業を設定。主な内容として、小学生でもプログラミングができるソフト「Scratch(スクラッチ)」を用いてプログラミング的思考を学んだ。 日時: 9月～11月 対象: 町内の小学6年生、年間3時間	・プログラミングの基礎的な知識や方法について学ぶ機会を提供することができた。 (課題) ・プログラミング教育の適切な実施時期や内容等について大学、教育委員会、小中学校で連携・協力し、改善を図る。 ・各学年児童の発達段階に応じて指導計画を修正し、実施する。

No.	町担当	事業名及び概要	令和4年度の事業実績	事業の効果・課題等
19	教育 学校推進 教育課 推進 担当	日工大サイエンスプロジェクト 小中学校の理科の授業において、大学の施設や設備を使った専門家による科学実験を通して、子供たちが興味をもって、自ら学ぶプロジェクトを実施する。	【新規】 ■日工大サイエンスプロジェクト ・中学校の理科の授業の実施 日時: 令和5年3月6日(月) 場所: 日本工業大学 対象: 須賀中学校2年生 大学教員: 共通教育学群(心理学) 瀧ヶ崎隆司 教授 共通教育学群(物理学) 佐藤杉弥 教授 共通教育学群(物理学) 服部邦彦 教授 基幹工学部電気電子通信工学科 竹村暢康 教授 先端材料技術研究センター 鈴木学 助手 ・日本工業大学の教員による小学校の教員を対象にした研修の実施 日時: 令和4年8月24日(水) 場所: 日本工業大学 内容: 2学期以降の学習内容を中心とした研修 参加人数: 小学校教員13名	理科の授業において、大学の施設や設備を使った専門家による科学体験を実施する。子供たちの理科に対する興味・関心を高め、理科好きの子供を育成し、自ら学ぶ児童生徒を育成する。
20	教育 生涯推進 学習課 ・ スポーツ 振興 担当	子ども大学みやしろ 地域の学校、行政(県町)、企業、市民が連携して、子供(小学校4~6年生)の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供する。	■「子ども大学みやしろ」 場所: 日本工業大学(全4回の講義のうち下記3回を大学にて実施) 対象: 町内在住の小学校4年生~6年生 講義内容: (①~③) ①「動物の10倍速く動く! 植物の筋肉?」 日時: 令和4年9月4日(日) 講師: 基幹工学部応用化学科 佐野健一教授 ②「SDGsたんけんたい ~エコキャンパスツアーへしゅっぱつ! ~」 日時: 令和4年11月13日(日) 講師: 学生環境推進委員会 ③「光の謎」 日時: 令和4年11月27日(日) 講師: 基幹工学部応用化学科 大澤正久教授 ・令和4年度子ども大学みやしろ実行委員会 学長: 基幹工学部応用化学科 大澤正久 教授 実行委員長: 共通教育学群 瀧ヶ崎隆司 教授	日常では得ることが難しい分野の学びや体験、交流の機会を提供し、子供たちの学びの意欲の高揚等を促すことができた。
21	教育 生涯推進 学習課 ・ スポーツ 振興 担当	みやしろ大学 宮代町にお住まいのシニア世代の方たちが、健康で心豊かに過ごすための知識や技術を向上促進していただく場。	【中止】 ■「みやしろ大学」 日時: 令和4年10月5日(水) 場所: 町立図書館 ホール 講義内容: 「身近な地球温暖化対策は、どのくらい効果があるのか考えてみよう」 講師: 共通教育学群 八木田浩史 教授 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	

No.	町担当	事業名及び概要	令和4年度の事業実績	事業の効果・課題等
22	教 生 涯 推 学 進 習 課 ・ ス ポ ー ツ 振 興 担 当	図書館運営事業 図書館の利用促進を目的に、図書館指定管理者が企画開催する。 【主催】 指定管理者：図書館流通センター	■「日本工業大学特別講演会 ー身近な移動を支援するパーソナルモビリティ自動運転システムの開発ー」 日本工業大学特別講演会として、町民の生涯学習に資するよう、身近な例を挙げ最新の技術などを解説。 日時：令和4年10月23日（日）14時～15時30分 場所：町立図書館 ホール 講師：先進工学部ロボティクス学科 鈴木宏典 教授	地元大学と公共施設の連携事例。
23	教 生 涯 推 学 進 習 課 ・ ス ポ ー ツ 振 興 担 当	図書館運営事業 図書館の利用促進を目的に、図書館指定管理者が企画開催する。 【主催】 指定管理者：図書館流通センター	■「第28回おとなのための昔話と音楽のつどい」 日本工業大学吹奏楽団（演奏）と町立図書館を拠点に活動を行っている宮代おはなしの会「スウス」（昔話等のお話）のコラボレーションにより毎年度開催している。 日時：令和5年2月26日（日）14時～16時 場所：町立図書館 ホール 演奏：日本工業大学吹奏楽団	地元大学と市民活動団体、公共施設との連携事例。

その他の連携

- 防災活動事業（災害時の町指定避難所としての活用）

令和5年度以降連携予定の事業（第5次総合計画前期実行計画事業）

- 日工大サイエンスプロジェクト
- チームみやしろ会議
- 東武動物公園駅西口わくわくロード事業
- みやしろズームアッププロジェクト
- 進修館オープンカレッジ
- 地域のオリジナルパークをつくろう！